平成２８年第５回大仙市教育委員会定例会議事録

平成２８年第５回大仙市教育委員会定例会を平成２８年５月３０日（月）午後４時から大曲図書館において開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　富　樫　佳　典
　　鈴　木　直　樹
　　伊　藤　　良
　　竹　原　まゆみ

説明員

教育指導部長	伊　藤　雅　己
生涯学習部長	山　谷　喜　元
教育総務課長	判　田　　基
教育指導課長	佐　藤　英　樹
教育研究所長	佐　藤　厚　子
生涯学習課長	山　崎　文　幸
文化財保護課長	細　川　良　隆
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	杉　山　光　行
総合図書館長	高　見　正　信
総合市民会館長	今　井　　聰
花館公民館長	寺　村　彰　浩
神岡中央公民館長	黒　川　　博
西仙北中央公民館長	小山田　幸　哉
中仙公民館長	草　薙　栄　良
協和公民館長	佐々木　　稔
南外公民館長	今　野　徳　吉
仙北公民館長	加　藤　　実
太田公民館長	煤　賀　康　典

書記

教育総務課参事　　田　口　広　龍

付議案件

議案第23号　平成２８年度大仙市一般会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について

議案第24号　平成２８年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第１号）案に関する臨時代理について

議案第25号　県費負担教職員の人事の内申に関する臨時代理について

吉川教育長
　委員の皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。
　本日は、全員御出席です。書記に田口参事を指名いたします。
　ただいまから、平成２８年第５回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。
　前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。
　通常ですと、ここで教育長報告に入るわけですが、その前に委員の皆様に御報告したいことがございます。御承知かと思いますが、富樫委員と鈴木委員の任期が来月６月３０日をもって満了となります。今日から市議会の定例会が始まりましたが、本日の午前中の本会議で鈴木委員の再任人事案について議会から同意をいただきました。鈴木委員は２期目となりますが、引き続き、よろしくお願いいたします。また、富樫委員は、来月の３０日をもって退任されることとなります。その後任として、協和地域小種地区にお住まいで、協和小学校のＰＴＡ会長でもあります工藤浩一さんを保護者枠の委員として議会から同意をいただいております。
　お二人には、７月１日に市長から辞令が交付される予定です。
　富樫委員には、２期８年間にわたり委員を務めていただきました。残り１か月あまりとなりましたが、定例会は今日と来月の２回、教育委員等訪問では、今後５校を訪問していただく予定です。最後まで御難儀をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。
　改めて、来月に感謝の会を設けさせていただきますので、こちらもよろしくお願い申し上げます。
　まずは、お二人の人事案件が議会を通ったということを御報告させていただきます。
　次に、本日の会議の進行についてお諮りいたします。本日の付議案件のうち、議案第２５号県費負担教職員の人事の内申に関する臨時代理については、人事案件であることから秘密会にしたいと思います。これに伴い、教育長報告の後、議案第２３号と議案第２４号を御審議いただきまして、その次に５番のその他に入らせていただきます。その他終了後、議案第２５号について御審議いただくということで、会議をスムーズに進めさせていただきたいと思いますが、委員の皆様、いかがでしょうか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長
　ありがとうございます。それでは、そのように進めさせていただきます。
　それでは、教育長報告に入らせていただきます。
　資料の１ページを御覧ください。
　最初に学校教育関係ですが、今年も文化・スポーツで活躍されている方々を招いてのこころのプロジェクト「夢の教室」が始まりました。５月は４日間にわたりましてスポーツバージョンの講演等が行われました。今年は、太極拳、キックボクシングといったなかなか経験することのないスポーツで活躍されている先生による教室が開催されまして、子供たちも興味深く聞き入っておりました。
　５月２４日には、大仙市総合防災訓練が実施されまして、道路の啓開訓練や自衛隊の大

型ヘリ等による救援物資輸送訓練、由利本荘市とにかほ市からの被災者受入訓練など大規模な訓練が行われました。学校関係では、大曲中学校を会場とした避難所開設及び運営訓練、大曲西中生徒による大型ヘリからの救援物資の運搬訓練などが行われ、生徒の真剣で迅速な動きに感心しました。

研修関係では、資料にありますように５月１９、２０日と四国は徳島市で開催されました全国都市教育長協議会に出席させていただきました。分野別の発表では、教育行財政分野で佐賀県神埼市からＩＣＴ整備事業の充実等について発表され、中学３年生全員にタブレットパソコンを貸与して個別の進度にあった学習活動をサポートしているとのことです。学校教育分野では、新潟県上越市から平成２４年から全小・中学校を指定しているコミュニティ・スクールについて説明がありました。その運営委員が参加しての総合的な学習等におけるカリキュラム検討などもしているそうです。生涯学習分野では、大阪府枚方市から市立図書館の充実について発表され、学校図書館とのオンライン化、学校司書の活用、市図書館分室、１１の分室があるようですが、一部指定管理者制度導入などを行っているなどの発表がありました。本市においても、ＩＣＴの更なる充実と学校司書配置は大切な課題と考えております。また、文部科学省の審議官からの講話では、特に次の二つが心に残りました。一つは資料にある馳プランといわれる「次世代の学校・地域創生プラン」で、このプランの視点は３点でございまして「コミュニティスクール」、「チーム学校」、「教員研修の充実」というものであります。このプランが土台となって様々な施策が進められるものと思います。もう一つは、チーム学校を支えるものとしての仮称ですが、「部活動指導員」という支援職員を法令に位置付けるということを検討しているということでございました。大変助かる話なんですが、実効性のある支援を期待したいものです。

ところで、徳島といえば、阿波踊りと渦潮と思います。渦潮は残念ながら「なぎ」の時間帯で大きなものは見られませんでしたが、阿波踊りの方は大会のアトラクションとして素晴らしい踊りを拝見できました。資料や通信にも載せましたが、男踊りと女踊りのコントラストは素晴らしいものでした。実際、阿呆ではできそうもない踊りでした。

続いて、５月２６日に全県市町村教育委員会委員長・教育長会議がございました。風登委員にも御出席いただきまして、「地域の教育力について」ということで各市町村の情報交換がなされました。

また、今年度の市ＰＴＡ連合会総会では、大曲西中学校ＰＴＡ会長の山崎さんが連合会会長に再任されております。今年度の活動がいよいよスタートしております。特に小・中、幼小の連携を一層充実させたいものであります。

県外視察関係では、九州や四国などから議員の方々がお見えになっております。本市の学校教育について活発な質問がなされましたが、どの議員も本市の人的な教育環境の整備と保護者・地域の理解と連携について大変感心しておられました。

次に社会教育関係では、５月２日に今回初めてとなる公民館連携検討会議が開かれました。大仙教育メソッド推進も踏まえた公民館同士の更なる連携について話し合われております。

社会体育関係では、リオデジャネイロ・オリンピックのカヌーに出場する佐々木将汰・翼兄弟の激励の横断幕除幕式が５月２日に、地元の激励会が四季の湯で開かれております。マラソンの佐々木悟選手同様、夢を追うことの素晴らしさを多くの子供たちに伝えていた

だくためにも、ベストコンディションでの活躍を期待したいと思います。
　児童生徒の安全・安心面では、今月も特に大きな事故等はございませんでした。
　以上で、私からの報告を終わります。
　それでは、次に各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長
　会議資料の２ページを御覧願います。教育総務課の５月の事務事業･行事について報告させていただきます。７件記載しております。このうち、全国都市教育長会議につきましては、先ほど教育長から御報告がございました。その他の６件についても、定例的な５月の会議ということで記載しております。以上です。

吉川教育長
　次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長
　教育指導課は、１３項目示しております。ほとんどが教育長報告で触れていただいております。私からは、最後の教育委員等訪問について、お礼方々お話したいと思います。５月２３日、南外中学校を皮切りに連日のように訪問を実施しております。教育委員の皆様におかれましては、数校訪問していただいて指導・助言をいただいております。この訪問は、７月上旬まで続きます。長きにわたる訪問でございますけれども、引き続きこの後もよろしくお願いいたします。以上であります。

吉川教育長
　次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長
　生涯学習課では、２５項目掲載しております。年度初めということで、各種総会等がほとんどでございます。その中で出前民謡についてですが、市内８地域に出前民謡を実施しております。今年は５月１１日の西仙北公演を皮切りに１１月まで８か所で実施いたします。西仙北では１３０人、大曲では３００人の市民の皆様に民謡を堪能していただきました。以上でございます。

吉川教育長
　次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長
　文化財保護課では１１項目紹介しております。この中でテレビ番組になりますが、「秋田人物伝『後藤宙外』」という秋田テレビの１時間番組が５月２８日土曜日に放映されました。後藤宙外は仙北地域払田の出身で、近代日本の文学界を中心とする文化振興に大き

く貢献した人であります。後藤宙外の生涯と人となりを紹介する番組でございました。宙外の払田柵の発見と史跡として国の指定に導いてくれた功績を、改めて番組でクローズアップしていただいて、とても良い番組であったと御報告したいと思います。以上であります。

吉川教育長
　次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
　スポーツ振興課、４項目挙げてございます。チャレンジデーには、皆様から御協力いただきましてありがとうございました。市民、学校、企業などのたくさんの方々から御協力いただきまして、５５．７パーセントの参加率でございました。昨年５１．７パーセントでしたので、４ポイント参加率を上げております。対戦相手の小金井市ですが、８２．６パーセントということで及びませんでした。対戦には負けたものの、参加率は年々向上しておりますので、引き続き各方面から御協力いただき、参加率アップを図ってまいりたいと思います。以上です。

吉川教育長
　はい、御協力ありがとうございました。次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　学校給食総合センターでは、１０項目掲載しております。この中で、秋田県ハサップ認証について御報告いたします。学校給食センターでは衛生管理を強化するため、平成２６年１０月に学校給食総合センターが学校給食施設として初めてハサップ認証を取得しております。昨年８月には中仙学校給食センターが取得しておりますが、今回三つ目のセンターとして５月１１日に西部学校給食センターが認証を取得いたしました。残りの太田、仙北のセンターについても、取得する予定です。以上です。

吉川教育長
　次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
　総合図書館は、７項目でございます。春季おはなしを聞く会でございますが、ボランティアの主催によるものでございます。５月１１日、１８日、２５日の水曜日に３回、大曲図書館１階奥のちびっこルームで実施しております。以上でございます。

吉川教育長
　次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長
　総合市民会館は、３項目挙げております。記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　次に、花館公民館長、お願いいたします。

花館公民館長
　花館公民館は９項目記載しておりますけれども、記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　神岡中央公民館は、８項目記載のとおりでございます。以上です。

吉川教育長
　次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館長
　西仙北中央公民館も８項目挙げております。西仙北寿楽大学開講式が５月１１日に行われました。寿楽大学は高齢者のための講座ということで進めておりまして、平成２８年度は１０３名の方が７講座に参加して１１月まで行われます。以上です。

吉川教育長
　次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館は、９項目挙げております。このうちドンパル講座についてですが、今年度から中仙公民館で開催される講座を「ドンパル講座」と名付けました。１１人の参加がございました。今後、７月から１２月までの間に４回予定しておりまして、１０月の教室の作品につきましては１０月２９日から開催を予定しております中仙の芸術文化祭に出展していただく予定でございます。以上でございます。

吉川教育長
　次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長
　協和公民館は、９項目記載のとおりでございます。

吉川教育長

次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
南外公民館では、９項目挙げております。５月１１日に行われました佐々木悟選手を応援する会の役員会の中で、７日のさなぶり花火大会の際に地域でもっと盛り上げようということで、悟君を応援する花火を打ち上げる予定ですので、時間がございましたら花火を見に来ていただきたいと思います。以上です。

吉川教育長
次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
仙北公民館は、１０項目でございます。このうち、あじさいキャンパス運営委員会についてですが、この団体は地域の老人クラブ連合会と婦人会連合会が一緒に活動する団体であります。今年はふれあい文化センター敷地内の雑種地を畑に改良いたしまして、子供たちに農作業体験をさせたり、来月には花いっぱい運動と連携いたしまして花の苗を植える予定です。以上です。

吉川教育長
次に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
太田公民館は、１４項目でございます。その中で、５月２０日に太田地域園長・校長会を開催しております。地域内の小･中学校長に加えまして認定こども園、大曲農業高校太田分校、太田支所、太田公民館の職員が集まりまして、今年度の行事と連携について連絡会を開催しております。以上です。

吉川教育長
今、太田公民館長からお話があったんですが、ほかの地域でも各小･中学校あるいは保育園等の園長さん方といわゆる大仙教育メソッドの絡みもございますが、連携を強めようということで話し合われたということであります。
以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

伊藤委員
チャレンジデーについてですが、これまでの勝敗はどうだったでしょうか。それから、対戦相手は誰がどのようにして決めるものでしょうか。

スポーツ振興課長
昨年、神奈川県座間市と対戦して勝っております。

それから対戦相手の決まり方ですが、人口のカテゴリーが６段階ありまして、７万人から１５万人までというカテゴリーに大仙市はあります。その同じカテゴリーの中で笹川スポーツ財団がランダムに選んで対戦相手が決まります。小金井市さんは昨年も７５パーセントの参加率となっておりまして、今年は午後４時の段階で既に７５パーセントだったということで、ちょっとかないませんでした。

伊藤委員
お隣の横手市は、確か八十数パーセントでも負けたんですね。

鈴木委員
私がちょっと違和感を感じるのは、確か１００パーセントを超えるところがあったと思います。重複しての報告があってそうなっているのかなと思うんですが、もちろん参加させることに意義があるんでしょうが､なんかあまりすっきりしないなという感じがします。

スポーツ振興課長
原則、重複は不可となっております。１００パーセント超というのは、工業団地とか本市を例に取りますと、大川西根辺りでは工業団地があるため、その地区の人口に加え、働きにそこに入ってくる人たちの分もカウントされるということがあります。

伊藤委員
流動人口も加算されるということは、大都市が有利ですね。

鈴木委員
朝、体操してから他市町村の会社に出社して、両方に参加するというのはいいんでしょうか。

スポーツ振興課長
市町村が異なった場合はいいと思います。

風登委員
関連してですが、５５．７パーセントという数値を示されましたけれども、市内の８地域ではどこの地域が高かったんでしょうか。

スポーツ振興課長
大曲地域は６地区に分かれて数値を出しておりまして、まとまった数値は出していないんですが、ほかの７地域で見ますと、神岡が５３．４６パーセント、南外が５３．３９パーセント、太田が５１パーセント、ほかは３０パーセントぐらいとなっております。大曲地域内では市街地が５９パーセント、花館７６パーセント、内小友３２パーセント、大川西根が１２６パーセント、藤木が４８パーセント、四ツ屋が７３パーセント、角間川８５パーセントとなっております。

風登委員
　分かりました。ありがとうございます。もう一点よろしいでしょうか。教育長の報告資料の中に、西仙北中に県外の高校の先生が視察に訪れたとの記述がありますが、これは研究指定とかあってですか、何か理由があるんでしょうか。

教育指導課長
　西仙北中学校は、２か年継続で教育課程研究指定校事業の美術を受けていただいております。ホームページで情報を入手した大分県の高校の先生から、進んだ取組について勉強させてくださいと直接、西仙北中学校に依頼があったようです。私どもは後で報告をいただきました。非常に前向きに先進的な取組を勉強したいという思いで、来てくださったようです。

風登委員
　以前にも、高校から小･中学校の視察という事例があるんですか。

教育指導課長
　前例はないと思います。

風登委員
　分かりました。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

鈴木委員
　平和中学校の学校訪問に行ったんですが、小･中連携とか校長会ですとか、そういった地域の組織づくりというのは早くやらないといけないと校長先生がおっしゃっていました。私もそのとおりだなと思いまして、１年かけてやるようなものではなく、ともかくスピードを上げて組織を作ってどんどんやっていくというところにすごく記憶に残ったものですから、報告させていただきます。

吉川教育長
　昨年度、各校にメソッドの構想があるから２７年度中によろしくということでお願いしていたんですが、それまで地域によって小･中連携とか組織づくりに温度差があったんですね。今年からは、各地域とも順調に組織づくりが進むものと思っております。ありがとうございます。何か、佐藤所長からありますか。

教育研究所長
　年度初めに組織を立ち上げ、実際に連携して実施する事業について、きちんと共通理解

が図られ、しっかり取り組んでいくという態勢ができておりまして大変心強く思いました。おそらく、ほかの地域でも同じように動いてくれているものと思っております。

吉川教育長
　はい、ありがとうございました。ほかにございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。
　次に、付議案件に入ります。議案第２３号「平成２８年度大仙市一般会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育指導課長、報告をお願いいたします。

教育指導課長
　それでは、議案第２３号平成２８年度大仙市一般会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について、御報告申し上げます。資料は９ページから１２ページまでになります。
　本案は、この補正予算案を議会に提案するに当たり、市長から教育委員会の意見を求められましたが、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったことから、大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第３条第１項の規定により、教育長が臨時代理として同意したため、同条第２項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。
　それでは、資料の１１ページを御覧願います。はじめに、今回の一般会計補正予算案の概要について、御説明申し上げます。１０款教育総務費に546万6,000円を補正し、補正後の額を41億3,813万3,000円とするものであります。内訳といたしましては、１項教育総務費に教育指導課所管のキャリア教育推進「総合的な学力育成」事業費として103万8,000円、６項の保健体育費にスポーツ振興課所管のスキー場事業特別会計操出金として442万8,000円となっております。スキー場事業の詳細につきましては、スポーツ振興課長から御報告申し上げます。
　私からは、1項の教育総務費の教育指導課所管のキャリア教育推進「総合的な学力育成」事業費につきまして、御説明申し上げます。１２ページの事業説明書を御覧願います。
　併せて、教育委員の皆様に対しましては、「大仙ふるさと博士育成事業」に係る関係資料を配付いたしておりますので、それも参考にしてください。
　本事業は、本市の新教育目標である「生きる力を育み、社会を支える創造力あふれる人づくり」の下、大仙教育メソッドが掲げる「地域活性化に寄与できる子どもの育成」を目指し、各中学校区単位での小・中連携、小・小連携、地域連携を推進するとともに、地域の捉えを更に拡大させ、大仙市全体を視野に入れた取組に広げ、これまで以上に企業や文化財や史跡等にも踏み込んだ施設との連携、及び幼保・高校・大学・特別支援学校等との異校種間連携を目指そうとするものであります。
　本事業のねらいは、事業説明資料１のプランで示しているとおり、「地域行事への参加

や、企業・施設等での見学・体験など、地域と関わる活動を通じて、ふるさとを愛する心を育て、地域の将来を担う人材を目指す」であり、この事業は夏休みをめどにスタートさせたいと考えております。

続いて、事業の概要についてであります。事業説明資料４のＡｃｔの欄を御覧ください。

対象は、市内各小学校３年生から中学校２年生までの児童生徒、約３，８００人でございます。

訪問先は、企業、文化財、施設、異校種、公民館主催の行事、地域行事等であり、訪問日は、主に長期休業中及び土曜日・日曜日・祝日等が予想されます。

活動内容、事業内容、認定方法につきましては、次の４点のとおりであります。

１点目は、教育委員会としての事前準備に関することについてであります。

訪問や体験が可能な施設・訪問先リストをあらかじめ教育委員会が作成し、活動開始前には、対象となる児童生徒にそのリストを配布いたします。活動途中に情報の追加・修正があれば、随時ＨＰに変更されたリストをアップし、情報提供していきます。

２点目は、申込みについてです。このリストを参考に訪問・体験したい施設等があった場合は、保護者の同意を得て、原則として個人で申し込みます。学校で本事業を活用する場合は、学校の代表者が申込みをし、相手方から了解をもらうものです。

３点目は、実際の訪問についてであります。訪問する際は、「ハローパスポート」を持参し、児童生徒が「参加、見学、体験」などの活動をします。

特に、活動した内容によってポイントが異なり、「参加・見学」のみの場合は１ポイント、体験活動が含まれていれば２ポイント、訪問先や地域等に貢献するような活動をした場合は３ポイントを与えるものであり、その認定は各学校の学級担任等にお願いするものであります。

４点目は、認定されたポイントに応じて「大仙ふるさと博士」に認定し、記念の缶バッチと認定証を贈るものであります。

缶バッチの大きさは直径４センチメートル程度、デザインは「まるびちゃん」を博士風にアレンジしたものをベースに、現在作成中であります。

認定の基準といたしましては、ポイントが１０ポイントに到達すると「大仙ふるさと博士初級」、３０ポイントで「大仙ふるさと博士中級」、６０ポイントで「大仙ふるさと博士上級」、１００ポイントで「大仙ふるさと名誉博士」などを考えております。

これに係る予算は、約３，８００人分のパスポートのケース代、記録用紙等の用紙代、クリアファイル代、缶バッチ作成経費等を含めまして１０３万８，０００円であります。

以上、御報告申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

吉川教育長

メソッドは立ち上げたんだけれども、実際にそれを動かす何かいい起爆剤はないかなと思っていたんですが、大館市で実施している「キャリアパスポート」という企業訪問に特化した事業を参考にしながら、ふるさと全体を知るということで検討してようやく形になってきたということであります。

ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございますでしょうか。

伊藤委員
　例えば、上級のふるさと博士になったときには、何かの際に招集して地域の説明をしてもらうとか、そういうことに活用する方向でお考えですか。

教育指導課長
　伊藤委員がおっしゃるとおりその子の頑張りを何かの形で活用するようなことも検討を加えることによって、その子の良さが更に認められ、この活動を通してふるさとの良さを発信するというような取組にも広がっていくと思いますので、今後、具体を形作る意味では検討していきたいと思います。貴重な御意見、ありがとうございました。

吉川教育長
　個人的には、これには二つのねらいがあります。一つはふるさとへもっと誇りをもつということで、やっぱりいいよなというものを感じ取らせたいと思っております。もう一つは、これまでこうした活動は全部学校任せでありました。今回は、最初は親御さんの御協力も必要かと思うんですが、基本的には自分で企業に電話して体験なり、あるいは見学をすると、そういった自分で計画して地域に赴くということができる力を身に付けさせたいということであります。したがって、成果として何かの機会に説明したりとか、そういったことまで求めているかと問われれば、そこまではあまり考えておりません。いずれ、一人でも多くの子供たちが、これを契機にどんどん外に出て地域の良さを認識しながら、自分一人で計画して行動できるような力を、まずは身に付けさせたいということであります。意図するところまでいくかどうか分かりませんが、頑張ってみたいなと思っております。
　ほかにございませんか。

風登委員
　訪問先リストは、もう作っているんですか。

教育指導課長
　これからになります。

風登委員
　どのくらいの数を目標にされていますか。

教育指導課長
　まずは、既存の施設で現在、同様の取組がなされております各公民館主催の子供をターゲットにした事業であったり、活用することができるような市、県、国の取組がございますので、あちらこちらにこの事業の趣旨を説明させていただきながら、賛同いただいた団体さんからその情報をいただこうかなと思っております。既存の取組をベースにしながら、リスト作成しつつ、一方では情報の一つにしか過ぎないだろうと思いますけれども、各小・中学校では職場体験等も実施しておりますので、どのような体験をしているのかという

ことを各校から情報提供いただきながら、その方向性、可能性なども探りつつ、働きかけをしていきながら、少しずつそのリストの範囲が広がっていくことができればなと思っているところでございます。

風登委員
　先ほど、活動内容に応じてポイント数が１点から３点まであって、名誉博士になるまでには１００ポイントですか。かなりハードルが高いなと感じました。子供たちの面白そうだなという動機付けってすごく大事だと思うから、もうちょっと低くするとか、工夫してもいいのではと思いました。

教育指導課長
　はい、分かりました。

吉川教育長
　これは、１年間で累積していくポイントです。風登委員がおっしゃったようなポイントの動機付けについては、考えていきたいと思います。
　内々に商工会議所の会頭さんには、お話しております。前向きに協力したいということでありました。特に独自で会議所青年部の方で子供を対象とした体験活動とかやられているみたいなので、これに行けばポイントを稼げるということになります。お互いにメリットのある事業ではないかなと思っております。市役所の経済産業部も全面的にバックアップしてくれます。
　竹原委員のところには、子供たちが農業体験をするために訪れたりはしないんでしょうか。

竹原委員
　以前はあったんですが、自分たちの作業が手一杯で余裕がない状況です。申し訳なく思っています。

吉川教育長
　そうですか。ほかに御質問等ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。それでは、本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長

それでは、本案は、報告のとおり承認することとします。
次に、議案第２４号「平成２８年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第１号）案を議題といたします。スポーツ振興課長、報告をお願いいたします。

スポーツ振興課長
それでは、資料は１３ページからになります。議案第２４号「平成２８年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第１号）案に関する臨時代理について」、御報告申し上げます。臨時代理として事務処理した理由については、前の議案と同様です。
資料の１６ページを御覧願います。
これは、協和スキー場の第１ペアリフト「主モーター分解整備」並びに第２リフト「油圧緊張シリンダー交換整備」に係る費用４４２万８，０００円の補正をお願いするものであります。
はじめに、事業の目的と目標ですが、地域が持つ豊かな資源と、冬の特典を生かしつつ、冬季スポーツの充実と市民の健康増進に資することを目的としております。
次に、これまでの実績と成果ですが、各スキー場の入込客数の推移を表にしております。協和スキー場につきましては、指定管理者制度を導入した平成２３年度からほぼ横ばいに推移しておりますが、昨年２７年度にあっては異常気象による雪不足から、市内３スキー場とも客足が減っております。
次に、問題と課題ですが、全てのスキー場において、リフトなど機械設備の経年劣化による維持管理費の増大が懸念されます。定期点検を実施し、深刻な故障を未然に防ぐことでコストの軽減を図り、常に安全で安心に利用できる環境の整備と運営体制を整えてまいります。
次に、今後の方向性と事業概要ですが、はじめに、第１ペアリフトにつきましては、２月１６日の保守点検において、主モーターの冷却ファン軸受け部から異音が発生しており、ベアリングの経年劣化による摩耗が原因であると判断されました。このまま使用した場合、シーズン途中で破損することが想定され、その損傷程度によっては長期の営業中止も考えられることから、今シーズン前の分解整備に要する費用２６５万６，８００円の補正をお願いするものであります。
次に、第２ペアリフトにつきましては、３月１１日に機械装置の確認を行った際に、リフトの搬器を回す大滑車を常に安定した緊張に調整する役割を果たす、油圧緊張シリンダーのパッキンが損傷し、シリンダー内にオイル漏れが発生しておりました。このまま使用した場合、オイル漏れが更に増大し、油圧が機能しなくなり、営業運行ができない状況になることが考えられることから、今シーズン前の交換整備に要する費用１７７万１，２００円の補正をお願いするものであります。
第１ペアリフト、第２ペアリフトともに、整備に要する工期が約４か月程となっていることから、６月補正予算に計上させていただきました。
補正額４４２万８，０００円の財源は、全て一般財源となります。
以上　御報告いたしましたが、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

吉川教育長
　ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございますでしょうか。

伊藤委員
　協和スキー場については、秋田市から来るお客さんが多いものでしょうか。

スポーツ振興課長
　秋田市方面からのお客さんは多い状況にあります。協和スキー場と秋田市のオーパスの指定管理者同士が連携していろいろな企画をしているようです。

吉川教育長
　ほかにございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。それでは、本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長
　それでは、本案は、報告のとおり承認することとします。
　ここで、先ほど御承認いただきましたように、付議案件の審議は、一旦、中断させていただきまして、次第の５番その他に入らせていただきます。皆様、何かございましたら、お願いいたします。

風登委員
　今後の行事予定表を拝見してて、今年度もすごい視察が多いなと思います。喜多方とか鳥取、和歌山、岡山ですか、特に２７日からは３県が来ますが、こんなに集中して来られて支障がないものでしょうか。

教育指導課長
　６月から７月にかけては、県外視察が殺到しております。依頼があれば全て引き受けているわけではなく、相手方にはこちらの条件を示しております。６月第４週までは学校行事の都合もあって難しいとお伝えしております。この時期だけは御配慮いただきたいと条件を示しますと、それでは、大きな行事が終わって１週間後はどうでしょうかということで、６月の最終週から７月の１週にかけての依頼が集中します。時期が重なりますので、受けるときには教育長と相談しながら進めております。それぞれ、視察の目的がございます。例えば、小･中連携、学力向上、教科指導などたくさんございますけれども、最近で

は長期滞在型の研修が多くございます。各小･中学校に分散してお願いし、重ならないように配慮しております。可能な限り、無理のない範囲で調整をさせていただいているところでございます。同じピークが７月の１週目にもございます。

風登委員
　そうですか。教育委員会の指導主事とかが随行したり、スタッフが大変なことになるということは、ないわけですね。

教育指導課長
　あちらからも指導主事などが見えられますが、研修を形作るまでには時間がかかるのも事実でございます。

風登委員
　何とか、乗り切れるという判断ですね。

吉川教育長
　できるだけ各学校に振り分けるようにはしております。

風登委員
　あちらの状況についての情報も得られるんですよね。

吉川教育長
　はい、そうです。ほかにございませんか。

（なし）

吉川教育長
　なければ、総務課長から次回の日程についてお願いします。

教育総務課長
　６月の定例会の日程についてです。６月２８日火曜日の午後４時から、ここで開催したいと考えております。定例会終了後、先ほど教育長からもありましたように、「富樫委員への感謝の会」を予定しておりますので、併せてよろしくお願いいたします。

吉川教育長
　伊藤委員には大変申し訳ございませんが、日程調整が厳しくて、このような日程を組まざるを得ませんでした。
　次回の定例会は、６月２８日火曜日の午後４時からということで、皆様いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　では、次回の定例会は、そのようにさせていただきます。
　ほかにないようでございますので、それでは、ここで一旦、休憩といたします。この後は、秘密会とさせていただきます。教育指導部長、生涯学習部長、教育総務課長、教育指導課長には、説明員として残っていただきます。その他の職員の皆様は、ここで退席ということでよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

（以下　秘密会）